

令和4年度における林業振興の推進に関する施策の実施状況

令和4年度における林業振興の推進に関する施策の実施状況について、「林業振興の推進に関する基本指針」（令和4年10月策定）に掲げる7つの取組方針ごとに実施した内容を取りまとめました。

【取組方針1】 森林所有者の収入を増加させるため、市産材の利用を推進する。	
●市産材の建築材への利用促進	
木材利用促進事業費補助金	決算額 4,900,000円
市産材の需要創出のため、住宅等の新築、増改築工事に市産材を利用した市内施工業者に対し補助した。 ・補助金交付件数 14件	
●公共施設における木造化・木質化	
(仮称)国道343号渋民バイパス「道の駅」における市産材利用の検討 (仮称)国道343号渋民バイパス「道の駅」の建設において、市産材の利用が進むよう、市と市内素材生産者、市内製材業者等と連携し、検討を行った。	
●市産材のサプライチェーンに携わる事業者の情報共有と連携促進	
バイオマス産業化推進事業費(木材カスケード利用協働協議会)	決算額 167,251円
バイオマス産業都市構想を推進するため、バイオマス産業化推進会議を2回開催し、先進地視察を1回行った。 市産木材の活用を促進するため、木材カスケード利用協働協議会を1回開催した。	

【取組方針2】 森林整備に係る費用低減と森林の適正な保全を図る。

●所有者、境界、森林資源等の情報の整備と運用

森林経営管理事業費(うち林地台帳更新業務委託)	決算額	2,035,000円
林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、森林整備の促進を図った。 ・ 林地台帳更新業務委託 林地台帳情報（森林の地番・所有者・地図等）の更新を委託した。		

航空レーザ計測実施の検討

森林所有者や林業経営体が森林の所在や森林資源等の情報を正確に把握し、経営管理を効率的に進めるため、市内の森林全域で航空レーザ計測及び森林資源情報の把握や解析を年次計画で実施するための検討を行った。

●造林や下刈りなど保育に係る費用の低減

森林総合整備事業費補助金	決算額	7,267,725円
私有林における良質材の生産と公益的機能の高い森林の育成を図るため、森林組合や生産森林組合等が行う私有林の整備に要する経費に対し補助した。 ・ 事業実施 3 団体 (下刈り99.19ha, 人工造林21.26ha, 樹種転換4.98ha)		

●作業道敷設に係る技術の向上と路網の整備

林道整備事業費	決算額	475,237円
県営事業で施工した林道のうち、引渡を受けた区間の台帳の作成及び登記処理業務を委託した。 ・ 林道赤沢線（大東） 登記処理 2筆 ・ 林道岩倉沢線（東山） 台帳作成 一式、登記処理 1筆		

林道維持補修費	決算額	22,628,746円
市が管理する林道について、道路側溝や路面の維持補修及び草刈り等を実施し、林業の振興や森林の保全併せて生活道路としての機能維持を図った。		

●施業の集約化

森林所有者意向調査		
森林所有者の経営に関する意向調査をモデル的に実施した。 ・ 令和4年度のモデル的調査（室根地域矢越地区 対象者 53人、対象森林 77.08ha）		

森林施業プランナー育成事業費補助金	決算額	22,630円
森林経営計画の策定を推進するため、林業経営体が育成する森林施業プランナーの資格取得に要する経費に対し補助した。 ・ 補助金交付件数 1件		

【取組方針3】木質資源の価値向上とカーボンニュートラルの実現のため、木質バイオマス利用を進める。

●薪ストーブなど木質資源の利用推進

薪ストーブ設置費補助金	決算額	2,499,000円
--------------------	------------	-------------------

市民による地域に根差した木質バイオマスの利用促進を図るため、薪ストーブの購入設置費用に対し補助した。

- ・補助金交付件数 26件

●チップボイラーの公共、民間施設における導入促進

バイオマス産業化推進事業費(バイオマス推進会議)	決算額	101,935円
---------------------------------	------------	-----------------

バイオマス産業都市構想を推進するため、バイオマス産業化推進会議を2回開催し、先進地視察を1回行った。

●木質バイオマスの供給拡大

木質資源市民集材支援事業費	決算額	519,120円
----------------------	------------	-----------------

森林内に残置された未利用木材を燃料として有効活用するため、市民活動団体による未利用木材の集材活動に対し報償金を交付した。

- ・活動団体 2団体(集材量 129.78t)

【取組方針4】森林の恵みを生かした特用林産の振興を図る。

●原木しいたけ放射線対策の推進

きのこ原木等処理事業費	決算額	15,330,329円
<p>●ほだ場の環境整備 放射性物質に汚染された落葉層の除去及び埋設保管や、放射性物質のほだ木への跳ね返りを防止するために資材の敷設を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落葉層除去面積 1,938㎡ ・落葉層埋設量 449㎡ ・資材敷設面積 4,868㎡ <p>●汚染乾しいたけの処理 放射性物質に汚染され一時保管している乾しいたけを県外施設へ運搬し、焼却処理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理量 11.65t 		
農林業系廃棄物処理加速化事業費	決算額	43,781,033円
<p>放射性物質に汚染され使用できなくなり一時保管されているほだ木の搬出及び破碎処理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほだ木処理量 553.14t 		

●原木しいたけの産地再生に向けた生産及び消費拡大

一関市乾しいたけ品評会実行委員会負担金	決算額	209,000円
<p>令和4年5月25日に東磐木材流通センターで審査会を実施、5月27日にJAファーマーズいわて平泉で展示・販売会を実施した。 出品数 42点（うち38点が県の品評会へ出展された。）</p>		
大東椎茸産業振興対策事業補助金	決算額	62,000円
<p>大東椎茸産業推進協議会が行う原木しいたけ産地の再興に向けた活動経費に対し補助した。</p>		
農林業系廃棄物処理加速化事業費	決算額	43,781,033円
<p>放射性物質に汚染され使用できなくなり一時保管されているほだ木の搬出及び破碎処理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほだ木処理量 533.14t 		
しいたけ生産振興対策事業費補助金	決算額	4,975,000円
<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質による被害を受けたしいたけ生産者の再生産支援のため、しいたけ原木及び種菌の購入経費に対し補助した。 種菌 55,206本分 原木 706本 3,266,000円 ・新規参入者及び震災前より規模拡大する生産者の増産分について、しいたけ原木の購入価格と原発事故前の価格差に対し補助した。 原木 5,600本 1,490,000円 ・新規参入者の支援のため、原木しいたけの種菌購入経費に対し補助した。 種菌 3,500本分 219,000円 		
特用林産施設等体制整備事業費補助金	決算額	6,939,000円
<p>しいたけ産地の再興を図るため、原木しいたけの栽培を行う生産組織に対し、生産施設の修繕等に要する経費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付件数 3件 		
乾しいたけ生産緊急支援給付金	決算額	1,005,000円
<p>原油価格・物価高騰の影響に伴う支援策として、乾しいたけを出荷販売する生産者に対し、経営規模に応じて給付金を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付件数 34件 		

●山菜の出荷制限解除と安全性を確保した販売

ミズの販売開始とタケノコ出荷制限の一部解除
<p>令和4年3月16日に出荷制限解除となったミズの出荷前検査を行った。また、令和5年2月17日にタケノコが一部地域で出荷制限解除となったことから、産直施設等へ出荷管理について説明会を開催した。</p>

【取組方針5】持続的な森林経営を確立するため、森林整備の担い手の確保と育成を進める。

●林業従事者の確保支援

林業新規就業者家賃補助金	決算額	40,000円
林業新規就業者の確保及び定着を図るため、市外から転入し、市内の林業経営体に新規就業する者に対し、家賃を補助した。 ・補助金交付件数 1件		

●自伐型林業者の育成

森林経営管理事業費(うち自伐型林業導入検討事業)	決算額	1,088,114円
林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、人材育成・担い手確保を図った。 ・自伐型林業育成検討業務委託 森林の経営管理を自ら行う自伐型林業の普及・推進を行っている団体から助言者の派遣を6回受け、当市における自伐型林業の展開を検討した。		

森林・山村多面的機能発揮対策交付金	決算額	134,870円
地域住民や森林所有者、自伐林家などで構成する活動組織が行う里山林の保全、森林資源の利活用などを支援するため、いわて里山再生地域協議会に対し全体経費1,227,740円のうち約1/9を交付金として交付した。		

●林業従事者における技術向上

森林施業プランナー育成事業費補助金 ※再掲

【取組方針6】森林や林業の役割に理解を深めるため、森林、林業、木材に触れる体験活動を進める。

●市民が参加する森林・林業体験、木育など機会づくりの支援

森林・林業体験促進事業費	決算額	707,218円
森林、林業、木材の持つ価値を実感できる体験事業を実施した。 ・森林・林業体験業務委託 森林・林業体験事業を市内2団体に委託し実施した。 ・間伐材加工体験及び森林学習会 市産材、間伐材の活用促進及び森林環境保全意識の啓発のため、市民を対象とした市産間伐材加工体験及び森林学習会を実施した。		

農業祭における林業コーナーの開設

一関地方産業祭「農業祭」において、一関農林振興センターや一関地方森林組合、森林資源を活用する一関市民の会とともに林業コーナーを開設し、市民が木材に触れる機会(丸太切り体験、木のおもちゃ広場、木工教室、薪割り体験・薪販売、林業作業用物品販売)を創出した。

●民間団体、民間事業者による体験事業の促進

森林・林業体験促進事業費 ※再掲

【取組方針7】地球温暖化防止へ寄与する森林の価値を高める取組を推進する。

●森林整備を通じたオフセット・クレジットの創出、販売

市有林CO2オフセットクレジット取得事業費
令和6年度のクレジット発行に向け、J-クレジット制度プロジェクト計画書の作成及び同計画書の妥当性審査を受けるための準備作業を行った。

●二酸化炭素の吸収と炭素の貯蔵を高める緑化、育樹活動の推進

岩手県緑化推進委員会一関支部の活動(緑化木の配布、植樹支援)

一関市に事務局を置く岩手県緑化推進委員会一関支部の活動として、市内の自治会や企業へ緑化木を配布したほか(自治会:318本、企業43本)、地域緑化のための植樹に要する経費を助成した。

林業振興の推進に関する施策の決算額合計

158,669,241円